

平成	30	年度	事業者番号	0284	事業所番号	028400
----	----	----	-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	A 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)
A	

(2) 事業所及び事業内容

代表事業所名	株式会社リテラ 本社棟・秩父第二工場		前年度における事業所数	2
代表事業所所在地	市区町村	秩父市		
	字・地番	みどりが丘29-2番地		
当該事業所を含む事業所の名称 (※Bテナント等の場合のみ記入)				
産業分類名(中分類)	非鉄金属製造業			
分類番号(中分類)	23			
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	主な製品:自動車用、建設機械用等のアルミ部品の製造加工 資本金:9千万円 全従業員数:280名(本社棟・秩父第二工場20名)		

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第2計画期間の削減目標

計画期間	27	年度	~	31	年度
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)	H28年度の排出量(386t-CO <sub>2</sub> ) に対し、31年度末までに3%以上削減する。又、原単位(19.3)に対しても3%以上削減する。			
	その他ガス				

(2) 第3計画期間の削減目標

計画期間	32	年度	~	36	年度
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)	第2計画期間(H29~31年度)の平均排出量に対し、36年度末までに5%以上削減する。			
	その他ガス				

## 事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	株式会社リテラ 本社棟	秩父郡小鹿野町両神薄2703番地
2	株式会社リテラ 秩父第二工場	秩父市みどりが丘29-2番地
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

日本工業規格A列4番

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1)原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
	1,521	191	245		

(2)計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO<sub>2</sub>換算 (t-CO<sub>2</sub>)

		計画期間				
		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源 CO <sub>2</sub>		3,229	386	502		
その他ガス	非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計		3,229	386	502		

(3)計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO<sub>2</sub>)

CO<sub>2</sub>換算 (t-CO<sub>2</sub>/指標)

				計画期間				
				27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量原単位					19.3000	25.1000		
活動規模の指標	○	従業員数	人		20	20		
		生産量	t/年	1,521				

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

A事業所

No	対策の区分		対策概要	実施年度	推計削減量(t) (一年度当たり)	
	区分番号	区分名称				
		大区分				中区分
1	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	本社金型棟：天井照明（メタルハライド灯）のLED化	H31年度	4
2	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	第二工場：天井照明（メタルハライド灯）のLED化	H30年度	12
3	370700	電動応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	第二工場：自動販売機 省エネタイプへの更新（2台）	H30年度	1
4	329900	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_ボイラー・工業炉・蒸気系統・熱交換器等に係るその他の削減対策	第二工場：蒸気配管の保温施工	H30年度	1
5	320400	熱交換器等	32_廃熱の回収利用に関する措置	第二工場：蒸気ドレンの回収利用	H30年度	5
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

A事業所

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

H28年度まで ①両神工場 ②本社棟 ③秩父第二工場 合算で「事業所A」で報告したが、①両神工場の生産が増加となりエネルギー使用量が1,500kLを超えた為、H29年度から「事業所B」で報告している。  
②本社棟 ③秩父第二工場の合算を2カ年「事業所A」で報告しているがH29年度は秩父第二工場の生産量が増加した為、エネルギー使用量はH28年度比で約30%増加した。